

事業所名 グループホーム 唐原

作成日: 平成 31 年 1 月 11 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	日常的な外出支援	地域行事や地域カフェに参加しているが、利用者の重度化により全員での外出支援が困難となっている。個々の希望に沿った外出支援を増やし、利用者の楽しみに繋げていく。	利用者の喜びや楽しみに繋がる外出支援を家族やボランティアの協力を得て行い、職員の勤務体制を見直し、チーム介護の中で外出を増やすように取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	運営推進会議を活かした取り組み	地域住民や家族も多く参加し、活発な意見も出ているが、参加者が固定化しているため新たな参加委員を増やし、新しい風を吹き込むことで更に充実した会議になるよう取り組んでいく。	新たに参加委員を有識者や複数の民生委員から参加を募り、行事と一緒に体験する等の企画を取り入れて会議の活性化を図る。また、ホームの繁栄だけでなく、参加委員にとっても有意義な会議となるよう取り組んでいく。	12ヶ月
3	16	災害対策	災害対策チームを発足して、災害に対する意識が高まり、様々な災害を想定した訓練を実施しているが居室が1階と2階に分かれているため、夜間の火災時の初期消火や避難誘導の連携体制の確保に取り組んでいく。	夜間を想定した避難訓練を日常的に行い、災害発生時に職員が冷静に、素早く対応できるような体制作りを構築するよう取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。